

## 校長室の窓から



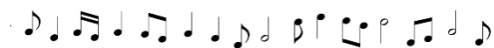
### くだらない歌詞 釘より金槌がいい……

給食の時間に流れる音楽で、ふっと耳に留まるものがあります。たとえば、♪ No woman no cry ♪ なんと、ボブ・マーリー。それから、♪ Some say love, it is a river ♪ ベット・ミドラーの名曲 The Rose。私が高校3年のころにヒットしました。でも、よく聞いてみると歌詞が日本語??

この曲はジブリの「おもひでぽろぽろ」の主題歌……と隣に座っていた音楽の S 根先生に教わりました。歌詞・高畑勲さん、歌・都はるみさんで、古い曲がとても新鮮に聞こえます。

原曲 The Rose は、映画「The Rose」の主題歌。この映画は、27歳で早世した伝説的女性ロック・シンガー、ジャニス・ジョプリンの波乱の人生を描きます。激しいロックそのままのジャニスの人生。そして、そのバックグラウンドに流れる The Rose は、「人は愛を何に譬えるのか」と、ゆったりとした曲調で歌う。みごとなコントラストでジャニスの人生の波乱を際立たせます。

The Rose を聞くと、ジャニス・ジョプリンの生きざまに自分の青春時代がオーバーラップして見えてくるようです。



ところで私が洋楽を好きになり始めた中学生のころ、大好きだったのがサイモン&ガーファンクル。特に「コンドルは飛んでいく」のメロディとハーモニーの美しさに魅了されました。

そして、その歌詞は、

カタツムリより雀になりたい  
そう できるなら きっとそうする  
釘より金槌になりたい  
そう できるなら……

……なんてくだらない歌詞なんだ！

美しいメロディには、それにふさわしい美しい歌詞があるものだと思っていた中学生の私は、「釘より金槌になりたい」という、実にくだらない歌詞を読んで心底がっかりしました。そして、このくだらなさを他の人にも知ってほしくて、「『コンドルは飛んでいく』って、釘より金槌になりたいって歌ってるんだよ。」と、悪意に満ちたまとめ方をして周囲に

触れて回りました。

その後、「自転車、自転車、自転車に乗りたいたい!」と叫ぶクイーンの Bicycle Race に出会うまで、「コンドルは飛んでいく」が、私にとって“くだらない歌詞”ランキング No.1”でした。

しかし、「くだらない歌詞だ」と思っている「コンドルは飛んでいく」や、「くだらない歌詞ランキング No.1 (久村個人内リサーチによる)」の Bicycle Race は、世界的にファンが多い名曲ですし、実は私自身、今も好きな曲です。

くだらない歌詞には、何かの魔力があるのでしょうか、ほんとうにはまっとうしてしまいます。



「人生は一篇の詩である。」とは安岡正篤の言葉。

以前、「子供たちには、自分についての豊かで美しい物語を綴ってほしい。」と書きました。それを単純に詩に置き換えると、「豊かで美しい詩」となります。しかし、すでに美しさを内包している「詩」の場合、少し違和感があります。

やはり私は、「人生は一篇のくだらない詩である。」なんて言うとしっくりときません。

さて、わが息子ならどう表現するか、聞いてみたくなって LINE すると、返ってきた答えは、

「一篇のエゴイスティックな詩」

ほう、面白い……逆説的な表現が父と似てる。

いずれにしても、カッコ悪くじたばたするのが人生の面白みだという点で、息子と父は一致しました。そして、そんな人生が他者から共感してもらえるような「詩」になってたらいいよね。と、

そんな話で盛り上がった父子の LINE、というか息子の夜勤の邪魔をした父でした。